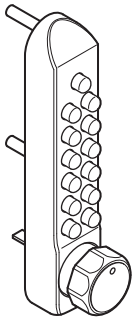
7274621

KEYLEX 500®

KL500
MIWA（BH･DA/LA）
シリンダー取替

取扱説明書　（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22270

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
ただ今の記憶番号

キーレックス 500 シリーズ 保証書

お買い上げ日から１年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障による場合、さらに本証のお買い上げ日 及び 販売店名の記入のない
場合は、保障期間内でも有料修理になります。

機 種 名：**キーレックス 500 シリーズ**

お買い上げ日：　年　月　日　保証期間：お買い上げ日より１年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.　　検印

株式会社　長沢製作所

NAGA SAWA

東京支店　TEL. 03-5383-1811（代）　FAX. 03-5967-3103
大阪支店　TEL. 06-6783-5091（代）　FAX. 06-6783-5092
福岡出張所　TEL. 092-524-7031（代）　FAX. 092-524-7032
札幌出張所　TEL. 011-583-3575（代）　FAX. 011-583-3572

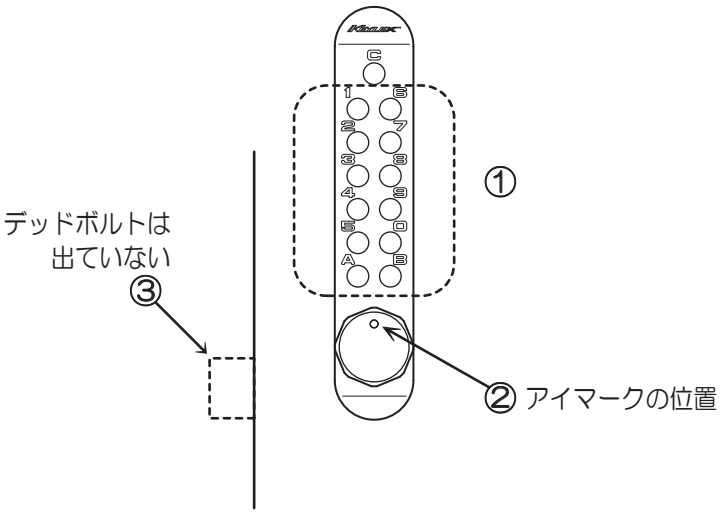
基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。

ご使用前に確認してください。

① 登録している記憶番号
② ロックターンのアイマークが
　図の位置（真上）にある
③ デッドボルトが錠に収まっている

※ 図は右吊元仕様です

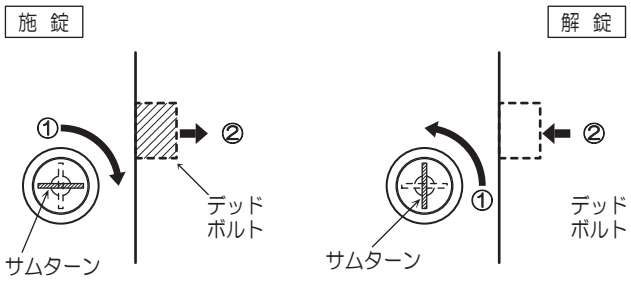


室内側

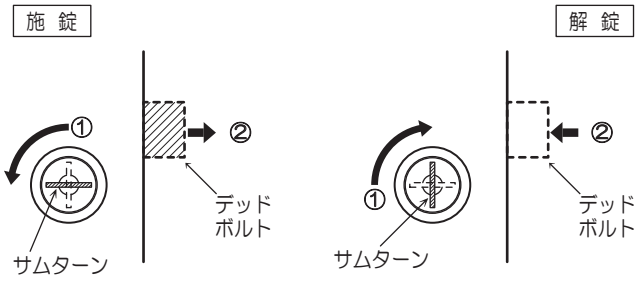
施 錠
① サムターンを回します
② デッドボルトが出て、施錠されます

解 錠
① サムターンを回します
② デッドボルトが収まり、解錠されます

BH



DA/LA

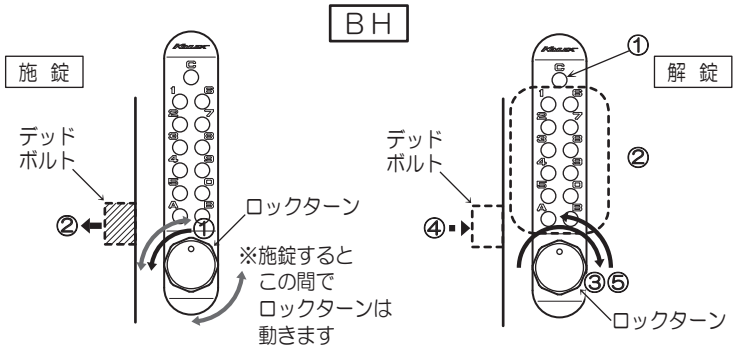


室外側

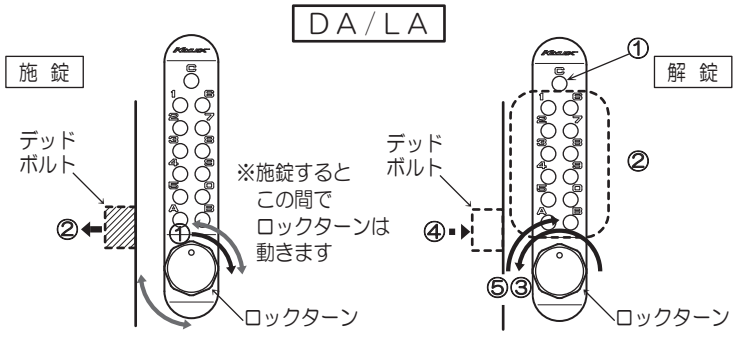
施 錠
① ロックターンを回します
② デッドボルトが出て、施錠されます

解 錠
① C ボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
② 正しい記憶ボタンを押します
③ ロックターンを回しきります（アイマーク：ヨコになる）
④ デッドボルトが収まり、解錠されます
⑤ ロックターンを90°元に戻します（アイマーク：ヨコ→タテ）

BH



DA/LA

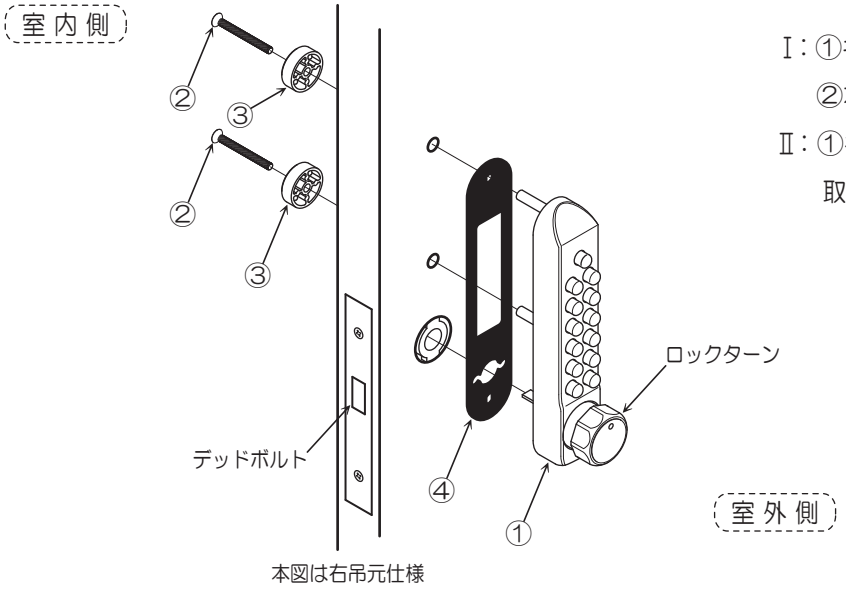


※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順

【１】キーレックス本体を取り外します

錠のデッドボルトが収まっている状態で取り外します。
取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。



本図は右吊元仕様

Ⅰ：①キーレックス本体の落下に注意しながら、
②本体固定ねじをはずします。

Ⅱ：①キーレックス本体、③室内丸座、④樹脂ベースを
取りはずします。

【２】記憶番号の設定変更をします

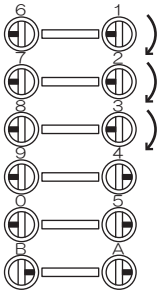
①本体表側のＣボタンを押します。
⑤まで、記憶ボタンは押さないで
ください。

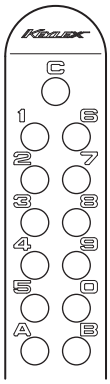
②本体を裏側にし、記憶されている
ロックピンを回転させ
（ロックピンの横溝を外側にする）
すべてをクリアします。

③新規に記憶する番号を必ず記録します。
本紙裏面に記入欄があります。

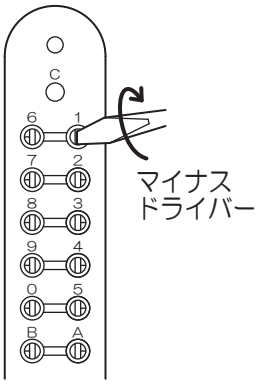
④新規記憶番号のロックピン横溝を
中央部の横溝にあわせます。

例：Ｂ１２３





本体表側



本体裏側

⑤新規記憶ボタンを押し、ロックターンが
確実に作動することを確認します。

基本操作　室外側欄を参照します。

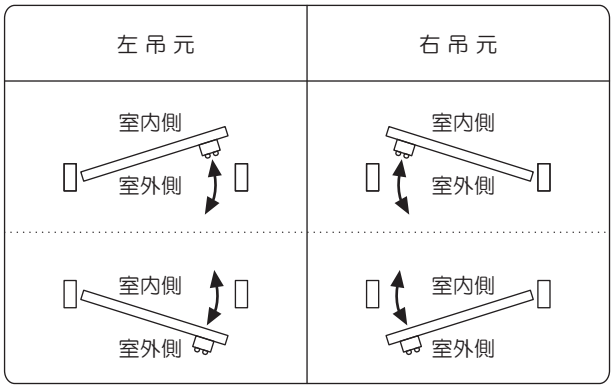
【３】本体を取り付けます

【１】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。
正しく作動しない場合は、記憶番号と吊元変更ねじの確認をしてください。

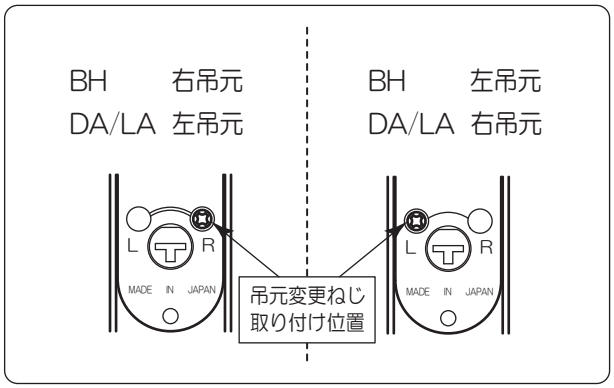
吊元と吊元変更ねじの確認

【１】下図で扉の吊元を確認します。



【２】①キーレックス本体裏の吊元変更ねじが下図のように
なっているかを確認します。

吊元変更ねじを入れ替えたら、しっかりと締め付けます。



記憶番号設定に関するご注意

● KL500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。

● ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。
例）記憶番号　1·2·3　の場合
1·2·3　と押しても　2·3·1　3·1·2　1·3·2　と押しても解錠できます。

● 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。　（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例）1·1·2·3　や　1·2·2·3　の設定はできません。

注意　危険防止の為に以下をお読みください

■ 取付ねじのゆるみ
● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。

■ 受座の飛び出し
● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。

■ 他の用途への使用
● ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。

◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
● 製品の分解、改造はしないでください。
● デッドラッチ、デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
● ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。

◆ 永くご使用頂くために
● 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
● 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。
汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。